



岩國白蛇神社崇敬会会報

令和六年十二月十六日 第二十一号

# ◎今年度に齋行された祭典・行事

【月次祭】四月～九月(月二回)

※参列者の延べ人数は百九十二名でした。

【四月】令和六年度

神社会計監査(二十五日)・昭和祭(二十九日、二名)

【五月】

第十四回総代会(十一日、十四名)

【六月】

崇敬会会計監査(二十五日)

夏越の大祓(三十日、三十名)

【七月】

白蛇神社崇敬会役員会(六日、六名)

【八月】

大掃除(四日)・白蛇供養祭(十六日、二十五名) ※保存会主催

【十月】

マウス供養祭(十二日) ※保存会主催  
神宮神嘗奉祝祭(十七日)

【十一月】

明治祭(三日)・新嘗祭(二十三日)

【十二月】

大掃除(一日)・例祭(十六日)

年越の大祓(三十一日)

【二月】

歳旦祭(一日)・元始祭(三日)

【三月】

節分祭(三日)・紀元節祭

(十一日)

祈年祭(十七日)・

天長祭(二十三日)



## 【御鎮座十三年祭について】

平成二十四年十二月十六日に御鎮座大祭を齋行してより二度目の巳年を迎えます。



令和七年正月の初詣はおそらく数万人の参詣者が予想されます。よって、駐車場も七百坪離れた小学校の校庭のみとなりました。

初詣に来られる方々のみならず、地域の方々も歓待の心持ちでお迎えすることが出来るように準備を整えたいと思っています。 ※右の写真は昨年度の例祭です。

## ◎来年度(令和七年度)予定

【四月】

昭和祭(二十九日)・総代会(未定)

【五月】

端午の節句祭(五日)

【六月】

夏越の大祓(三十日)

【七月】

七夕祭・崇敬会役員会(未定)

【八月】

大掃除(三日)

白蛇供養祭(十六日)

【十月】

マウス供養祭(十一日)・神宮神嘗奉祝祭(十七日)

【十一月】

明治祭(三日)・新嘗祭(二十三日)

【十二月】

大掃除(七日)・例祭(十六日)

年越の大祓(三十一日)

【一月】

歳旦祭(一日)・元始祭(三日)

【二月】

節分祭(三日)・紀元節祭(十一日)  
祈年祭(十七日)・天長祭(二十三日)

令和七年(2025)は、昭和の改元から百年、先の大戦(大東亜戦争)敗戦から八十年の節目の年にあたります。わが国は内外ともに危機的な状況にあります。今こそ歴史に学び、祖国日本の伝統・文化を顧みる必要があるのではないでせうか。

## ■令和七年の月次祭 《乙巳》きのとみ

|     |                |
|-----|----------------|
| 一月  | 十二日(日)・二十四日(金) |
| 二月  | 五日(水)・十七日(月)   |
| 三月  | 一日(土)・二十五日(火)  |
| 四月  | 六日(日)・三十日(水)   |
| 五月  | 十二日(月)・二十四日(土) |
| 六月  | 五日(月木)・二十九日(日) |
| 七月  | 十一日(金)・二十三日(水) |
| 八月  | 四日(月)・二十八日(木)  |
| 九月  | 九日(火)・二十一日(日)  |
| 十月  | 三日(金)・二十七日(月)  |
| 十一月 | 八日(土)・二十日(木)   |
| 十二月 | 二日(火)・二十六日(金)  |

※巳の日が三度ある月は、月初めと月末の巳の日が月次祭となります。  
(月二回巳の日、九時半より)

## 令和七年厄年表(数へ年)

|               |
|---------------|
| 【男性】          |
| 本厄            |
| 二十五歳(平成十三年生)  |
| 四十二歳(昭和五十九年生) |
| 六十一歳(昭和四十年生)  |

|               |
|---------------|
| 【女性】          |
| 本厄            |
| 十九歳(平成十九年生)   |
| 三十三歳(平成五年生)   |
| 三十七歳(昭和六十四年生) |

当神社での厄祓祈願を希望される方は事前に御予約をお願い致します。  
祈願された方には、祈禱した木札と御守・御神酒等の撒饌が授与されます。

## 【崇敬会会員継続のお願い】

来年度(令和七年度)の会員継続の方のために払込取扱票を同封しましたので、宜しくお願ひ致します。  
なお、会費の納入については、社務所でも承つてをります。

## 「新しい御札をお祀りしませう」

新年を迎へるにあたり、神棚を清め、新たに受けられた御札をお祀りします。新しい御札には、この一年をお守りいただく御神霊の力が宿されてゐます。  
お伊勢さまの御札(神宮大麻)を受けられる方はお申し出ください。  
今までお祀りしてゐた御札は、過ぎし一年が無事に過ごせたことに感謝し神社に納めます。社務所には一月八日までに御持参ください。お祓ひの後に、錦帯橋河原で行はれる「とんど祭」にて、お焚きあげします。



宮では、神宮と合はせてとみ  
当社では、神宮と合はせてとみ  
大受けて頂いて  
をお願いします。

## 【令和六年度崇敬会役員会】

七月六日(土)  
六月二十五日崇敬会の監事である中村さんと二宮さんに令和五年度の崇敬会の会計

## 〔令和5年度崇敬会収支決算書〕

|            |             |
|------------|-------------|
| 《歳入》・振替入金額 | ¥ 382,000   |
| ・預金入金額     | ¥ 437,000   |
| ・前年度繰越     | ¥ 1,164,574 |
| 合 計        | ¥ 1,983,574 |
| 《歳出》・振替手数料 | ¥ 18,102    |
| ・郵送関係費     | ¥ 75,250    |
| ・会議費       | ¥ 17,701    |
| ・会報等印刷費    | ¥ 35,914    |
| ・注連縄3本費    | ¥ 964,590   |
| ・神社への奉納    | ¥ 200,000   |
| ・事務費       | ¥ 15,330    |
| ・寄附・慶弔費    | ¥ 19,000    |
| 合 計        | ¥ 1,345,887 |



監査をお願いしました。出納簿・関係諸帳簿・領収書・預金通帳等の監査をして頂きました。その結果、いづれも誤りのないことを確認し、七月六日の役員会にて報告して貰いました。  
尚、差引残高

六十三万七千五百八十七円については、六年度に繰越すこととしました。

また、今年度の事業として、大幟旗一对、神社境界木柵の修繕、縁石補修工事、防犯カメラ二台の設置が決められました。会員の皆さまには改めてお礼を申し上げます。

※次頁に写真を掲載してゐます。



防犯カメラ二台の設置と大幟旗一対については十一月末に納入の予定です。

本殿・拝殿の補修工事  
(数力所)



神社境界木柵の修繕  
(4力所)



## 【「神社本庁史稿」解説】(十六)

### 《津市地鎮祭訴訟問題》その二

昭和二七年に独立を回復したにもかかはらず、占領下の「神道指令」下のごとき政教関係に復する危険性をこの判決は示唆してゐます。神社界はこの名古屋高裁の判決に愕然とするとともに、再び「神道指令」下の状況をつくつてはならぬとの想ひが油然而して起りました。神社本庁は直ちに角永津市市長の支援を決定しました。角永市長も同月に最高裁へ上告しました。神社本庁には地鎮祭訴訟特別対策本部が設置され、一般市民への啓発を始め法廷対策などに当たりました。神社界からも浄財が寄せられ、神政連を中心に神社界が丸となつて取り組む体制が整へられました。

神社界以外でも、「政教関係を正す会」や「津地鎮祭問題を考える学者文化人の会」などが結成され、様々な活動が行はれました。当然、最高裁に対する要望書も提出されました。その甲斐あつてか、昭和五二年七月、最高裁から合憲との判決の言ひ渡しが行はれました。上告以来六ヶ年、発端から十二ヶ年、憲法の政教条項に対する最高裁の判例が確定しました。神社本庁を中止とした様々な活動の成果でありました。

《最終》

### 《白蛇にまつわる思い出》紹介

#### 『白蛇への想い』(二)

八百屋 操子 作

しつとりと湿り気を帯びて、ぬめぬめと光る真っ白な肌、ただいまは保護舎の中で飼育されておりますので、少々黄味色になってお



りますが、自然の中に生活しておりました時は、とても美しい艶がありました。ルビー色に澄んだ目、愛らしい目許をしております。ゆつくりと落ち着きはらつて体をくねらせる白蛇の姿は、妖艶な魔性の美しさを思わせま

す。うす暗い天井の梁の陰から急に出て来て、もの憂げに体をくねらせる。決して急がないし、人がそばを通つてもあわてて逃げることもなく、まさに貴婦人の貫禄。ときには静止して十秒ちかくも大あくびをすることも

あります。そんな白蛇に土地の人びとは酒をささげたり生卵を供えたりします。白蛇は開運の神様で、これを祀れば金儲けができる信じ、一時期、一頭五万円とも十万円とも言われて捕まえられたこともありました。地元の人は絶対に手を出しません。白蛇の意にそむくことをすると、畳の上では死ねないと言ひ伝えられておりました。又、白蛇に出合つた妊婦は、美人の子供が生まれるとも言われています。

ゆつくりとくねくね閑暇を楽しむ白蛇も、あやしく殺気立つ場合があります。それは獲物をねらう時の姿勢です。体がとても大きく見えて目はきびしいまでに輝き、その威圧感には一寸ひるみます。それは一瞬の出来事です、稲妻のように躍りかかります。小動物をねらい、雀でも獲ります。子蛇はこおろぎなどの昆虫類を食べます。

白蛇に対しても地元の信仰は昔も今も変わ



っておりません。昭和二年頃、帝人岩国工場建設現場で白蛇をいじめたことがあり、間もなく事故が起きて工場側で「白蛇供養」をして厄払いをしています。

十年前に主人が亡くなり、密葬の日の出棺という時、思いもかけず白蛇が出て門の上を這い、横切って庭に消えたのを私は忘れることが出来ません。家で白蛇を見た最後です。屋形船が川面に浮かび、情緒豊かだった今津川周辺の面影も、白蛇への想いと共に薄れていくのでしょうか。 「完」

《昭和六十一年発刊歌文集「今津」より》

## 【社報で推薦した図書一覧】

令和六年七月～令和六年十一月号

### ○『憲法一代記』

西修著、育鵬社

### ○『日本を守るため、明日から戦えますか？』

葛城奈海 著、ビジネス社

### ○『日本列島はすごい』

伊藤孝著、中公新書

### ○『若者が選んだ安倍晋三100のことば』

安倍晋三デジタルミュージアムプロジェクト、幻冬舎社

### ○『後に続くを信ず』

岩田温著、かや書房

### ○『放送禁止。』

百田尚樹・有本香著、飛鳥新社

### ○『日本人の歴史哲学』

岩田温著、産経セレクト

### ○『「いい人」の本性』

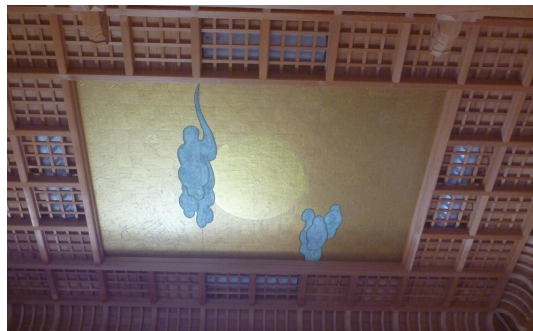
飯山陽著、飛鳥新社

### ○『国史教科書』

竹田恒泰著、令和書房

## 【創建十二周年を記念して】

この十二月でちょうど十二周年を迎える記念として天井画への加筆が行われました。美術家でもある三樹正典教授（広島女学院大学）によるもので、見上げる位置によつて違って見える天井画となつてゐます。



崇敬会員の方であれば、社務所の神職にその旨をお伝えすればご案内をします。御遠慮なくお申し出ください。

尚、三樹先生の参拝記念画（第四弾）も授与しています

◎令和七年のカレンダーを授与してゐます。

|             |       |
|-------------|-------|
| ○皇室カレンダー    | 1200円 |
| ○伊勢の神宮カレンダー | 900円  |
| ○靖国神社カレンダー  | 500円  |

※数に限りがありますので、電話にて御注文くださいませ。



一月の元日から五日までは麻里布小学校の校庭が臨時の駐車場となります。約七百坪の徒歩となりますが、ご寛恕くださいませ。



参拝記念画